

# 令和4年度 プログラムB（複合型）研修歯科医

## 近藤 葉月 先生（B-1）

臨床研修で義歯と口腔外科について学びたいと考えており、私は他大学出身ですが、このプログラムBではそのどちらも学ぶ機会があると思い、選びました。現在は、大学の義歯診療科にて研修中で、後半の半年は富山県立中央病院で研修を行います。

義歯診療科では義歯製作の症例を担当させていただくことが多いのですが、診査・診断をし、一口腔単位で治療計画を立てた上で治療していくことの重要性、そして難しさを痛感しております。知識も技術も未熟で、分からないことやできないことの連続ですが、先生方の熱心で親切なご指導のもと、同期と共に充実した研修生活を送っています。

半年ずつの短い期間ではありますが、恵まれた環境で研修ができることに感謝し、1つでも多くのことを学び、経験し、自分の糧になるよう努力していきたいです。

## 岸本 奈月 先生（B-2）

歯科医師としての高い専門性や幅広い知識に加え、患者さん一人ひとりに合わせた一口腔単位の診療を行うための視点や考え方など、臨床に取り組む姿勢を身につけるための第一歩として最適であると考え、本院の研修プログラムを選択しました。大学病院で専門性の高い分野に特化して学びつつ、協力型施設ではより地域に根ざした一次医療も経験できることが、Bコースの魅力であると感じています。

私は現在、埼玉県の関根歯科医院で研修していますが、親身に相談に乗り、いつでも熱心にご指導くださる先生方や、向上心の高いスタッフ、確立された研修カリキュラム、院内外の勉強会への参加など、恵まれた環境の中でたくさんの刺激を受けながら、充実した毎日を過ごしています。歯科医師の8割以上が歯科医院で働く昨今、早い段階で歯科医院の中でも特に質の高いモデルケースを体験することは、長い歯科医師人生のなかでとても意義のあるものとなることでしょう。